

目指せ！セミにもヒトにも優しい千代田区

しらい こう
(白井 孝さん)評価の
ポイント

1.活動目的

セミが健やかに羽化するために、人間ができる取り組みを探ること。

2.活動場所

千代田区、ほか23区も含む
四谷外濠公園、東郷公園など

3.規 模 個人での活動(2名)

4.活動時期

2024年7月(1年目)

5.活動内容

羽化に失敗したセミの抜け殻や、幼虫が土から出て羽化するまでの実際(成功例・失敗例いずれも)を観察することで、セミの生育過程が健やかであるための条件を探る。またその条件の実現のために、人間が取り組める環境活動を検討する。

受賞者の
ひと言

外濠公園は、自分の5倍くらいの高さの木で羽化したセミも多く、ビックリしました。東郷公園では、人工物に何度も登って・滑って落ちる幼虫の姿が、もどかかったです。自然の木のほうが登りやすい・羽化しやすいんだと実感しました。

活動の写真



東郷公園での観察



羽化に失敗した抜けがら



羽化の様子



観察の様子

屋上 生物探検隊(千代田区立

ちよだくりつ

お茶のみずしょうがっこう

お茶の水小学校)

1.活動目的

新しい校舎の屋上園で自然発生した生き物を調べること。

2.活動場所

千代田区内
千代田区立お茶の水小学校 屋上

3.規 模

3~6年生児童のべ70名

4.活動時期

2024年10月(1年目)

5.活動内容

2024年4月から使用を始めた新校舎の屋上園・ビオトープに自然発生した生き物を、3~6年生の有志児童が11月の中休みに採取したり、観察したりして、「千代田区の生物図鑑」として校舎掲示にまとめた。

教職員と児童が一体となってモニタリングを行っており、とても良い試みだと思います。さらに続けることで、ビオトープ内の自然の変化を知ることができます。

評価の
ポイント受賞者の
ひと言

お茶の水小学校屋上生物探検隊は、令和6年4月から使用開始した新校舎の屋上に生息する生き物を調査しました。イトトンボなどの空を飛ぶ生き物だけでなくコオロギなど土に生息する生き物も見られ子どもたちは大変驚いていました。

活動の写真



双眼実体顕微鏡で観察



千代田区の生物図鑑



屋上ビオトープでの観察の様子

1.活動目的

外ばり公園にいる昆虫を観察し、
ネイチャーポジティブについて考える。

2.活動場所 外ばり公園

3.規模 個人での活動(2名)

4.活動時期

2023年4月(2年目)

5.活動内容

外ばり公園をたんさくすると、いろいろな昆虫が見つかります。たまにめずらしい昆虫を見つけることができます。ヒメトラハナムグリの幼虫もそのひとつで、桜の朽ち木の中にいることを発見しました。また、たんさく経験を通して、ネイチャーポジティブへ向けて、今からみんなで外ばり公園でできることを考えました。

人間の活動が中心となっている公園で、生物多様性保全という視点をもって調査を行っている点が素晴らしいです。他区取り組みとの比較を行っていた点も良かったです。

受賞者の
ひと言

ヒメトラハナムグリやタマムシのような虫たちに食べ物とすみかを残しておく取り組みが、千代田区や東京の他の区にもこれからどんどん広がっていったらうれしいです。

評価の
ポイント

活動の写真



ヒメトラハナムグリ



ヤマトタマムシ



ウバタマムシ



朽木積み

積み上げた伐採木の丸太はトカゲの日光浴や、クワガタなどの甲虫の幼虫の生育場所となっています。公園内では朽木が少なく貴重な場所となっています。

1.活動目的

東京都心部の限られた自然環境に
生息するトンボの保全のための
モニタリング

2.活動場所

北の丸公園(メインの調査地)
日比谷公園

3.規模 個人での活動

4.活動時期 2021年4月(4年目)

5.活動内容

2021年から2024年にかけて、北の丸公園と日比谷公園でトンボの分布調査を行った。これまで2019年から2020年にかけて調査を行っており、その活動を継続したものである。今回の調査では、ヤンマ科5種、オニヤンマ科1種、トンボ科10種、サナエトンボ科2種、イトトンボ科6種、モノサシトンボ科1種、ヤマトンボ科1種の合計26種類のトンボが観察された。

地道なモニタリング活動は生物多様性の現状把握には欠かせないものです。4年前の応募から長期間継続して調査を行っており、しっかりとデータがとられています。

受賞者の
ひと言

東京都心部の限られた自然環境に生息するトンボを保全し、その種の多様性を守るために、今後も北の丸公園を中心に調査を続けていきたいと考えています。また、在来種の保全をするにあたって、今後も池や抽水植物の適切な管理や人為的な採集圧、外来種の対策などが必要であると考えています。

評価の
ポイント

活動の写真



マルタンヤンマ



クロスジギンヤンマ



ナツアカネ



コノシメトンボ

千代田区における取組み紹介 ①

セミ羽化観察会

- 活動場所
 - ・日比谷公園
 - ・日比谷図書文化館
 - 日比谷コンベンションホール

● 活動内容

セミ羽化観察会を夏休みの期間に2回開催しており、夜間に日比谷公園を歩き、セミの羽化観察をするほか、室内では、セミの観察方法や生態、体のつくりについて学ぶことができます。



室内講義の様子



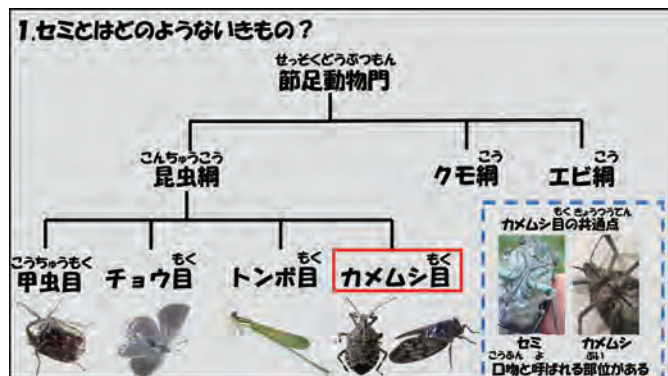
確認されたアブラゼミの幼虫



観察の様子



その他の生きもの（ショウリョウバッタ）



配布資料（セミとはどのような生きもの？）



配布資料（セミの成長）

秋の観察会と木の実クラフト

- 活動場所
 - ・北の丸公園
 - ・区役所4階 401会議室

● 活動内容

秋の観察会と木の実クラフトでは、北の丸公園を散策して、どんぐりや紅葉した落ち葉等のクラフト材料を集めたり、観られた生きものの観察を行います。

集めた材料を使ってリース等の工作を行います。



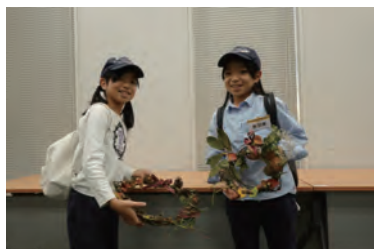
観察会の様子



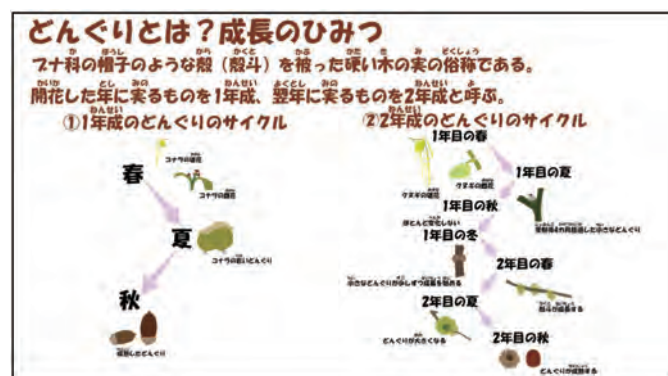
どんぐり拾いの様子



工作づくりの様子



作成したリース



配布資料（成長のひみつ）



配布資料（野生動物によるどんぐりの利用）

千代田区における取組み紹介 ②

千代田区 生きもののさがし

「千代田区生きもののさがし」は、区内の身近な自然にふれ、さまざまな生きものを知ることで、自然や生きものへの関心を高めることを目的として行っています。

バイオーム
「Biome」アプリをつかって
生きもののさがしをしよう！
皆様のご参加をお待ちしています。

令和7年度も、生きものコレクションアプリ「Biome」を活用した、千代田区版生きものクエストを実施します！

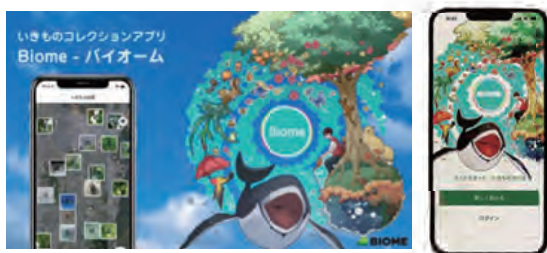
● 千代田区生きもののさがし2025春編（4/20～5/31）

● 千代田区生きもののさがし2025夏編（7/20～8/31）

* 千代田区で見かけた生きものをお手持ちのスマートフォンで撮影し、アプリに投稿してください。



←「Biome」アプリのインストールは
こちらから



調査結果(2024年)

生きもの発見マップ

生きものがいちばん多く発見されたのは北の丸公園でした！
里山の木々や野鳥が好む実のなる木が多く、都会では少なくなっている植物の生育地にもなっています。

48件

靖国神社

128件

外濠公園

26件

千鳥ヶ淵公園

44件

清水谷公園

507件

北の丸公園

312件

皇居東御苑

78件

皇居前広場地区

405件

日比谷公園

● 春の調査

● 夏の調査

見つけた生きものランキング

春は植物が多く発見され、夏に向かうにつれセミやトンボなど昆虫の元気な姿を見ることができました。

春

の調査

1

ヒラドツツジ

2

ハルジオン

※外来種

3

ムラサキカタバミ

※外来種

夏

の調査

1

アブラゼミ

2

ミンミンゼミ

3

シオカラトンボ



* 報告のあった種のうち、バイオームのデータベースと照合できなかった種は報告件数から除外して計算しています。
* バイオームでの投稿のうち、しつもん投稿、科・目・分類での投稿は種数から除外して計算しています。

ちよだ 生物多様性大賞

募集期間

令和7年 5月1日(木) ~ 11月28日(金)

対象

区内で生物多様性の保全等に関する活動
をしている個人、団体、事業者等

応募方法

千代田区のホームページから応募用紙をダウンロード
し、必要事項を記入のうえ、写真などを添付して環境
政策課へメール、郵送、持参してください。
ホームページへは右のQRコードを読み取りください。

家庭での身近な取
組みでも、お気軽
にご応募下さい！

選考ポイント

実効性や発展性・波及性等の視点から、
個人、団体等の特性に合わせて評価します。

表彰者発表

令和7年12月(予定)

表彰式

令和8年2月(予定)

※応募書類と写真は原則として返却いたしません。
※受賞者の活動はホームページ等で公表します。



● 表彰の対象となる活動例

1 生物多様性の保全に関する活動

- ▶ アダプトシステムへの参加
- ▶ 緑地づくり
- ▶ ツバメの巣の見守り など



アダプトシステムへの参加

2 生きもののネットワークづくりに関する活動

- ▶ 鳥が休める場所づくり
- ▶ 生きものが住みやすい場所づくり
- ▶ 小さな空地も活かした都心の緑化 など



ツバメの巣



羽を休めるカワセミ

3 普及・啓発に関する活動

- ▶ セミ羽化観察会、秋の観察会など
自然観察会への参加



セミ羽化観察会

4 その他、特徴ある活動

- ▶ 生きものの情報の蓄積や発信
- ▶ 生きものの調査による発見 など



秋の観察会



学校での生きもの調査

■ 応募／問い合わせ先：千代田区環境まちづくり部 環境政策課

電話:03-5211-4255 FAX:03-3264-8956

住所:〒102-8688

Eメール:kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp

千代田区九段南1-2-1

